

平成27年度第10回政策会議概要

- 1 開催日時：平成27年11月26日（木） 8:45～9:05
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題1 平成28年度人事異動方針について

●更屋課長【人事課】（資料1に基づき説明）

平成28年度人事異動は、5月に開催される伊勢志摩サミットの成功に向けた推進体制の確保に重点を置きつつ、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画（仮称）」の着実な推進に向けて、「職員の意欲・能力の発揮」、「職員の人材育成」、「ワーク・ライフ・マネジメントの推進」を3つの柱として進めていく。

女性職員の登用については引き続き、管理職への登用を視野に入れ、多様な知識や経験を身に付けることができる様々な職へ配置していくとともに、子育て等を行っている女性職員についても、多様な知識や経験の取得が可能となるような人事配置を行う。

また、「ワーク・ライフ・マネジメントの推進」として、管理職の配置に当たっては、職員の仕事と家庭の両立を支援し、応援、サポートしあう職場環境づくりに取り組む姿勢を重視し、そうした職場のサポートの中で、子育て等を行う職員についても意欲や能力をより一層発揮し、活躍していけるような人事配置を行う。

☆高沖環境生活部長

女性に係る「登用」という表現については慎重にすべきという考え方もあるがどうか。

☆鈴木知事

たしかに、県民の皆さまに打ち出していくような対外的な方針等においては、県の“上から目線”と誤解されるような表現について慎重に検討すべきだが、今回の人事異動方針は県庁組織内での方針であり、あくまで組織内で、人事権者・任命権者が県庁職員に対して使う言葉であることから「登用」という表現で問題ないと考える。

議題2 知事会議の開催結果について

●笠谷課長【政策提言・広域連携課】（資料2に基づき説明）

10月以降に開催された2つの知事会議の結果を報告する。

10月20日に志摩市内で「宮城県・三重県知事懇談会」を開催した。伊勢志摩サミットを契機とした連携、東日本大震災を契機とした取組、水産業の振興について議論を行い、今後、両県で連携した取組や情報交換を行っていくこととした。

11月12日に桑名市内で「第104回中部圏知事会議」を開催した。中部圏における地方創生の推進について議論を行い、地方創生を進めるうえでの財源確保や政府関係機関の地方移転の着実な推進を国に提言していくこととした。

(質疑等なし)

議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●竹内戦略企画部長(資料3に基づき説明)

資料3の「県民の声を受けて」公表分の概要であるが、11月2日及び同月16日付けの県ホームページ公表分については、県民の声の件数は37件で、県の対応件数は40件であった。

3の主な内容としては、(1)の職員に関するものとして、イベント時の職員の対応や保健所の窓口対応についての苦情が2件、エレベーター乗降時のマナーについての苦情が1件寄せられている。

また、(2)の「県民の声を受けて実施した」案件で、業務の改善等へ反映したものとして、三重おもいやり駐車場利用証制度についての提案意見と県ホームページの図書館の休館日の表示についての苦情への対応があった。

各部局においては、内容をよく確認し、適切な対応をお願いしたい。

(質疑等なし)